

# 第36回夏期哲学講座 日程と講座内容

時間	8月20日(土)	8月21日(日)	8月22日(月)	8月23日(火)
7:00		起床	起床	起床
8:00		朝食	朝食	朝食
9:00		初めての坐禅会 (希望者のみ)	自由	自由
9:30				
10:00		記念写真	研究会Ⅱ (選択制)	講演会Ⅳ
11:00		研究会Ⅰ (選択制)		閉講式
12:00	受付(～13:30まで)	昼食	昼食	書斎見学 解散
12:30	初参加者向け哲学館ツアー (希望者のみ)			
13:00	開講式	(続き)	(続き)	
14:00	講演会Ⅰ (公開)			
15:00				
16:00	オリエンテーション	講演会Ⅱ (公開)	講演会Ⅲ	
16:30	墓参			
17:00	落日拝・夕食 (海岸)		研究発表	
17:30				
18:00		夕食		
19:00				
20:00		入浴・自由討論		

## 研究会

10人程度のグループに分かれて行うゼミ形式の講座です。それぞれのテーマを講師・受講生ともに議論し合いながら深めていきます。各研究会のテーマ・講師からのコメントは、内側をご覧ください。

担当講師：森哲郎、岡田勝明、美濃部仁、安部浩、佐々木香織

## 研究発表

受講生も日頃の研究成果を発表をすることができます。(要事前申請)

## 講演会

### 講演会Ⅲ

「見えないものを見る  
—哲学と詩の生まれる処—」  
8/22(月)14:45～ 岡田勝明

### 講演会Ⅳ

「脱自と表現  
—シェリングと西田幾多郎—」  
8/23(火) 9:00～ 森哲郎

### 初参加者向け

#### 哲学館ツアー ※希望者のみ

哲学館へようこそ！ 講座が始まる前に、哲学館自慢の展示室を覗いてみませんか？ 学芸員が展示の見どころと、一風変わった哲学館の建物を案内します。

#### 落日拝

哲学館の立つ砂丘から斜面を下ると日本海が広がっています。海を眺めるのが好きだった西田幾多郎にちなんで、海に沈む美しい夕日を見ながら夕食をいただきます。

#### 初めての坐禅会 ※希望者のみ

西田幾多郎が若き日に打ち込んだ坐禅を、安藤忠雄建築の中で体験してみましょ。初心者も歓迎。

## 公開講演会

※申込不要、受講生以外も聴講できます。(1回500円)

### 8/20(土) 講演会Ⅰ 「哲学する場所をつくる—哲学塾について—」

14:00～ 中島 義道 (なかじま よしみち)  
東京大学大学院で学ぶ。元電気通信大学教授、哲学塾カント主宰。専門は、カント・時間論。著書『うるさい日本の私』等。

### 8/21(日) 講演会Ⅱ 「対話する西田哲学—対話の〈他者〉とは誰か—」

16:00～ 大橋 良介 (おおはし りょうすけ)  
ミュンヘン大学大学院で学ぶ。哲学館名誉館長、日独文化研究所所長。専門は、哲学・日本哲学。著書『西田幾多郎—本当の日本はこれからと存じます』等。

この夏、哲学をはじめよう

第36回

# 夏期哲学講座

2016 8/20(土) 13:30 - 23(火) 12:00



人はどこから来て どこへ行くのか——

あなたの周りには、哲学する場所があるでしょうか  
哲学について考え、語り合う場があるでしょうか

今年で三十六年目を迎えるこの夏期哲学講座は  
直に人と出会い、人と対話して、  
生きた哲学を学ぶことのできる講座です。

「少し興味があります」という方から  
「長年、哲学を勉強しています」という方まで、  
どなたでも参加できます。

場所は、日本最初の哲学者・西田幾多郎の故郷  
日本海をのぞむ「哲学の博物館」  
安藤忠雄が設計した、考えるための空間です。



## 石川県 西田幾多郎記念哲学館

Ishikawa NISHIDA KITANO Museum of Philosophy  
〒929-1126  
石川県かほく市内日角井1  
TEL(076)283-6600 / FAX(076)283-6320  
http://www.nishidatetsugakukan.org/  
開館時間 9:00～17:30  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

交通アクセス  
■車利用：北陸自動車道「金沢東I.C.」～約20分  
のと里山海道「白尾I.C.」～約3分  
■電車利用：JR金沢駅～七尾線(25分)宇野気駅

■日時 平成28年8月20日(土) 13:30 ~ 23日(火) 12:00  
 ■会場 石川県西田幾多郎記念哲学館(石川県かほく市内日角井1)  
 ■定員 65名  
 ■受講資格 18歳以上

■受講料 [一般]17,000円 [学生/かほく市民]11,000円  
 ※21・22日の昼食と20・21・22日の夕食の計5回分の食事代が含まれます。  
 ※学生割引については、科目等履修生(聴講生)は対象外とさせていただきます。  
 ※宿泊を希望される方は、別途に宿泊費が必要となります。

■宿泊方法  
 ◎合宿・概要:哲学館に隣接する「かほく市宇ノ気老人福祉センター」にて、大広間・中広間に男女に分かれて、蒲団を並べる「合宿」となります。お風呂は施設内の大浴場を利用できますが、洗面用具などはございませんので各自ご持参ください。  
 ・申込:講座申込時に「合宿を希望する」としてください。  
 ・定員:40名 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。  
 ・費用:3泊 6,000円 ※21・22・23日の朝食、計3回分の食事代が含まれます。  
 ◎旅館 旅館は各自でご予約ください。参考までに、かほく市内の宿名と電話番号を記載しますので、よろしければご利用ください。詳細は、直接宿にお問い合わせください。

さか井や旅館 (076) 283-5550 [JR宇野気駅から徒歩2分] ※全国中学校体育大会などにより、20日(土)の宿が取りにくくなっています。お早めにご確認ください。  
 河北亭 (076) 281-0013 [JR高松駅から徒歩10分]

■交通アクセス  
 哲学館がある「かほく市」は、能登半島の根元、金沢市より20km北に位置します。  
 ・自動車:北陸自動車道(金沢東IC)から、国道159号線で七尾方面へ約20分。  
 のと里山海道(白尾IC)から約3分。  
 ・電車:JR金沢駅から七尾線で宇野気駅へ約25分。宇野気駅から徒歩約20分(タクシー5分)。  
 ・飛行機:小松空港から空港バスで金沢駅まで約50分。金沢駅からは同上。

◎宇野気駅から哲学館まで、講座期間中は下記の無料送迎バスをご用意いたします。  
 時間の都合が合うようでしたらご利用ください。

	〔行き〕宇野気駅発	〔帰り〕哲学館発
20日(土)	12:00, 13:00	18:50
21日(日)	7:30, 9:05	18:50
22日(月)	8:45	18:50
23日(火)	8:45	12:10

※バスの発着場所は、宇野気駅正面東口(銅像側)になります。時刻が変更となる場合は、講座中にお知らせします。

■申込締切 平成28年7月31日(日)  
 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

■申込先、お問合せ  
 石川県西田幾多郎記念哲学館  
 〒929-1126 石川県かほく市内日角井1番地  
 TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320  
 E-mail: nishida-museum@city.kahoku.ishikawa.jp



■申込方法  
 下記①~⑩の項目を、全てご記入の上、哲学館までお申し込みください(郵便、メール、FAX可)。  
 申込受付後に、振込用紙をお送りいたします。(※マークは、いずれかをご記入ください)

- ①名前(ふりがな) ②電話番号 ※講座開始までの間に、必ず連絡がとれる番号をお知らせください。  
 ③住所・郵便番号 ④性別 ⑤年齢 ⑥参加回数 ⑦職業 ※学生の方は、学生証のコピーを添付してください。  
 ⑧「老人福祉センター」での合宿を \*希望する/希望しない  
 ⑨〔⑧で合宿を希望しない方のみ〕「宇野気駅~哲学館」の無料送迎バスを \*利用する/しない  
 ⑩哲学館ツアー・坐禅会の出欠、および参加を希望する研究会を選択してください。(下記参照)  
 ○(20日)哲学館ツアー・・・\*参加する/参加しない ○(21日)坐禅会・・・\*参加する/参加しない  
 ○(21日)研究会Ⅰ・・・\*第1希望 A/B/C/D/E、\*第2希望 A/B/C/D/E  
 ○(22日)研究会Ⅱ・・・\*第1希望 A/B/C/D/E、\*第2希望 A/B/C/D/E  
 ※教室の人数調整上、第2希望を受講していただくことがありますので、ご了承ください。  
 ⑪最近興味のある事・本、参加動機などを100字程度でお書きください(研究会で自己紹介に使われることがあります)。  
 ※上記項目のうち、出身都道府県および①⑥⑩⑪は、受講生に配布する冊子に記載させていただきますのでご了承ください。  
 また、この個人情報は、哲学館で開催される講座に関する本人へのご連絡以外の目的には使用いたしません。

◇受講生による研究発表が22日にあります。発表を希望される方はテーマをお知らせください。  
 ※発表時間はお一人20分程となります。希望者が多い場合はお断りすることがありますのでご了承ください。

	講師	8月21日(日) 研究会Ⅰ	8月22日(月) 研究会Ⅱ
A	森哲郎	『善の研究』第四編「宗教」を読む —「神秘主義」との関連で— 講師のコメント 最後の宗教論(「場所的論理と宗教的世界観」)も念頭において、最初の「宗教論」をじっくり味読したい。「神なき所に神を見る」というエックハルトの言葉は終始一貫する軸となるだろう。	禅の『十牛図』を見る —西田・西谷・上田の「場所」論を究明するために— 禅の修行の手引きの小冊子『十牛図』をじっくり「見る」ことで、難解な西田哲学が面白くなる。最後の第⑧・⑨・⑩図の各々に、西田・西谷・上田の禅理解と独自の「場所」論を対応させて探求したい。
B	岡田勝明	「知と愛」と「大智と大悲」 —鈴木大拙『仏教の大意』を手がかりに— 講師のコメント 哲学における「哲学と宗教」と、宗教における「宗教と哲学」とをそれぞれ考えてみることで、哲学を、また宗教を求めるとの在処を問うてみる。	悲哀の響き —『西田幾多郎歌集』を読む— 西田幾多郎が胸底に抱いていた悲哀の響きに、短歌や随想、また肉親の声から、聴き入ってみる。
C	美濃部仁	絶望と宗教と哲学 —西谷啓治のニヒリズムとニーチェ、エックハルト、禅— 講師のコメント 西谷啓治「私の哲学的発足点」を主な手がかりとし、ニーチェ、エックハルト、禅等の見方を参照しながら、宗教による救いを信じきれない現代の私たちの絶望と、それからの脱却の可能性について考えます。	「一般者の自己限定」とはどういうことか? 「一般者の自己限定」という言葉は、西田哲学の基本用語ですが、なかなかわかりにくい言葉です。その意味を、『善の研究』「場所」「私と汝」「弁証法的な一般者としての世界」等を手がかりに解明することを試みます。
D	安部浩	西田哲学入門 —論文「デカルト哲学について」を読む— 講師のコメント 「何かを一つつかしくよく解らなかつたけれど、その深味のある独創的な、直観的な思想に私は魅せられてしまった」(倉田百三)。西田哲学の魅力とは? 西洋の哲学者の諸説との対比から、御一緒に探ってみましょう。	ハイデガー哲学入門 —論文「形而上学とは何か」を読む— 「存在と不安」ということで、ハイデガーが考えている事柄を私は十分に察することができます(ヴァイゲンシュタイン)。「何かが存在していることの驚き」をお互いに味得し直しながら、大いに議論いたしましょう。
E	佐々木香織	はじめての倫理思想史 —哲学に興味を持ち始めたばかりで夏期講座には初参加、という初めて学ぶ方向けの最も初歩的な講座です。いきなり哲学書に挑むのではなく、アクティブラーニングという手法で西洋思想史の基礎を勉強してみませんか。	古典芸能で読む日本思想 —鎌倉時代の『義経記』、室町時代の謡曲『安宅』、江戸時代の歌舞伎『勧進帳』。同じ「安宅」の関を描きながら、それぞれの時代の思潮を反映しています。古典芸能の講義から当時の思想を読み解いてみましょう。

研究会担当講師  
プロフィール

森 哲郎(もりてつろう) 京都大学大学院で学ぶ。京都産業大学教授。専門は宗教哲学・禅思想。著書『禅と京都哲学』(共著)等。	岡田 勝明(おかだかつあき) 関西学院大学大学院で学ぶ。姫路獨協大学教授。専門はドイツ観念論・日本哲学。著書『フイテと西田哲学—自己形成の原理を求めて』等。
美濃部 仁(みのべひとし) 京都大学大学院で学ぶ。明治大学教授。専門は哲学・フイヒテ。著書『久松真一「覚の哲学」』等。	佐々木 香織(ささきかおり) 筑波大学大学院で学ぶ。石川工業高等専門学校准教授。専門は日本思想史・西洋哲学史。論文「ドイツロマン主義の時代」等。
安部 浩(あべひろし) 京都大学大学院で学ぶ。京都大学准教授。専門は哲学・ハイデガー。著書『現/そのロゴスとエートス—ハイデガーへの応答』等。	